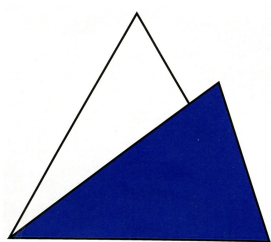


会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2020年 4月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2020年 4月1日発行 通巻324

今年度は・無事故で

仲間と楽しい山行を！

4月号目次

・ 目 次	2
・ 総会中止による特別処置について	3
・ 房総の山とおきの話	8
・ 統一クリーンハイク案内	9
・ 県連予定表	10

表 紙 説 明

千葉県連創立45周年記念行事、ネパール・エベレスト街道トレッキングを実施した。

参加者8名が2コースに分かれて、絶好のトレッキング日和に恵まれて世界の名峰を堪能し大満足だった。

写真は、コース途中のクムジュン村からのアマダブラムです。「アマダブラム」とは、シェルパ語で「母の首飾り」とのことです。首飾りは連想できませんでしたが、雄々しくて魅力的で好きな山です。

—— 編集者 ——

千葉県連盟定時総会中止による、特別処置について

千葉県連・役員会は、定時総会中止に伴う「特別処置」を各会にお願いしました。総会や理事会の会場である公共施設の使用が出来ない事で、総会開催の見通しがなく、次期活動への影響等を考慮して特別処置を選択しました。

特別処置は、定時総会で提案し承認する事を、各会で討議し各会の賛否をもって決定する内容です。

会員の皆様の、ご理解をいただきご協力をお願いします。

◆ 特別処置について

1、各会に、定時総会議案書の討議

- ・会選出代議員、役員を中心に、各会における討議を実施する。(各会で実施)
- ・質問、意見、要望を、県連にメール送信する。(各会～県連に)
- ・各会からの質問、意見、要望をまとめて、各会におくる。(県連～各会に)

2、活動方針・予算(案)の承認

- ・各会は、賛否を県連に報告する。(各会～県連に))
- ・県連は、各会の賛否を集約する。(集約結果を県連～各会に)
- ◎ 賛成会が過半数の場合→方針・予算は承認とする。
- ◎ 反対会が過半数の場合→方針・予算は否決とする。
- ◎ 各会より出された意見、要望等については理事会で検討し対応する。

本来は、議案に対する賛否は、総会代議員の過半数で決定するが、今回は特例として、会毎の賛否で決定する事とします。

規約や前例のない事ですが、総会を中止せざるを得ない情勢を克服して、早い時期に第54・55期の活動を開始するために、ご理解とご協力をお願いします。

3、各会からの質問と意見

① 第2号議案(第53期決算)

Q1 p.1 資産内訳の『県連盟費次期準備金』と『積立金』とは、具体的に何か？

A:次期総会経費・次期連盟費納入までの活動費。

:印刷機他、高額購入の財政確保。

Q2 支出の『集会関係費』又は『委員会活動費』の中に、関東ブロック会議などへ参加した場合の交通費は含まれているか？それとも、『交通費』からか？

A:含まれている。交通費は、県連活動の交通費です。

Q3 『集会関係費』又は『委員会活動費』のどちらからか？それとも、ケースバイケースで仕訳られているのか？

『委員会活動費』は、県連内の活動が対象で、『集会関係費』は、全国や関東ブロック等の県連外での活動が対象か？

A:その通りです。

Q4 p.2 支出の『50周年記念活動費』は、いつ、何に使用されたのか？

A:主に記念誌編集委員会交通費です。3名合計46回

② 第4号議案（第54期予算）

Q1 p.4 支出の『総会関係費』は、具体的に何か？

2020年3月7日開催予定であった総会議案書作成費用や総会会場費か？

A: その通りです。(支出予想。概算)

A: 中止により、会場費は全額返金になります。

Q2 p.4 支出の『50周年活動費』は、具体的に何か？

『50周年記念誌』は、いつ、どのような形で発行・配布されるのか？

また、前期より『10万円』増額されているが、なぜか？

A: 50周年記念誌作成費用、作成手順、作成費用の見直しの結果増額となる。

: 作成委託会社との詳細の打ち合わせが出来ない状況で、5月連休明けを目安に進めている。作業が大変遅れたことをお詫びします。

③ 第3号議案（第54期・第55期活動方針）

Q1 p.21 連盟の重点活動方針のスケジュールで、『第1回実施：2020年4月』となっているが、具体的に何を実施するのか？ 2021年4月では…？

議案書では、次のように設定されているが…。別のことを考えているのか？

*クリーンハイク：2020年5月30日

*ふれあいハイク：2020年10月25日、または2021年4月か5月

A: 2021年4月です。実施内容は、実行委員会で決定する。

内容の変更等は、自然保護委員会・ふれあいハイク実行委員会で最終決定する。

基本的な変更はない？ 会員外の一般参加は、自然保護や新規会員の獲得に有効であるので前向きに検討して行く。

また、『55周年記念事業』が一切触れられていないが、取り組まないということか？

一方、機関紙委員会では、『創立55周年記念特集を掲載…』となっているが…。

A: 記念事業は、役員会・理事会で具体的な討議はされてないが、「2021年度中に記念事業を実施する事」を実施したい。理事会で早急に決定し提案したい。

Q2 p.26 女性委員会の中で、全国連盟・関東ブロック女性委員会行事への参加を促しているが、まずは、関東ブロック交流女性委員会会議に参加し、情報交換をし、県連加盟の会員に早めに情報発信をするようにしてはどうか？

A: 全国、関東B行事には、今までも参加しているので継続する。

関東ブロック交流女性委員会会議への参加は、県連女性委員会の体制や活動内容等を考慮して慎重に対応する。県連にとってプラスなのか等の判断もして行きたい。

A: 追記 全国総会でも質疑がありましたが、ブロック活動は全国連盟規約になく、予算措置もない。全国連盟と各地方県連の中間組織としての活動をどうするのか等解決すべき問題もある。参加経費等は県連予算からの支出になる。

A: 早めの情報案内については、理事会、ニュース等で実施しているが再徹底をする。

Q3 p.28 海外委員会の海外登山目的地の選定について

海外委員会よりの提案を、

総会時にアンケート調査の準備を進めていた、それに替わる方法を考えている。

・具体的には、次の方法・日程を考えている。

- 1) 4月初めに、アンケート用紙（投票用紙）を各会の代表者・理事に配信する。
- 2) 各会でもって会員に回答してもらう（具体的な方法は、各会に委ねる）。
- 3) その結果を、4月25日（土）までに海外委員会（安彦）までメール返信してもらう。
- 4) 集計結果を参考に目的地を選定し、具体的な準備を開始する。

*目的地によっては、今年2020年9月～11月に実施できるかどうか？

④ 第5号議案：役員選出

意見：新たな役員が選出されない場合、現執行部の留任を希望する。

4、 議案書以外での意見・要望

① 労山山岳事故対策基金制度について

会員の高齢化により『山スキー』から『ゲレンデスキー』へ移行したり、『冬山』には行けないが夏に備えた体力づくりとして『ゲレンデスキー』を始めた会員が増えている。

一方、『ゲレンデスキー』の増加に伴い高齢者の事故も毎年発生している。『労山山岳事故対策基金制度』の適用範囲を見直し、『ゲレンデスキー』も対象にしていく時代と思う。また、見直しの際は、制度の名称の変更を希望する。

A、全国基金運営委員会は「ゲレンデスキーは対象外だ」と意見が根強い

- ①リフト、圧雪斜面、監視員など人工的な要素の多い環境で、自然環境とは言い難い
- ②ゲレンデでの事故はスキーヤー「ボーダーも含む」同士の衝突など交通事故まがいの事故も多い。
- ③有名ゲレンデではリフト券に傷害保険料がついているところが多い、
このようなところに基金の貴重な財源は使うべきではない。

A 近年 条件付きで基金対象と認めるようなケースを作った。

- ①山スキー山行のルートの一部として、ゲレンデを通過する時の事故は認める。
- ②山スキー技術の向上を目的としてゲレンデで練習するときの事故は認めるが、
純粋なゲレンデスキーは認めないという考え方は変わっていません。
- (3) 意見にある、高齢化による山スキーからの移行、夏山に向けた体力作りで
ゲレンデスキーをするなどで、ゲレンデスキーをする会員が増えて来ているの
であれば、それは考え方を変える大きなインパクトになると思います。

② 『労山カレンダー』の2020年版

一方的に（？）見直されたが大変不評で、特に、週表示が『月～日』になり、利用者が混乱している。来年2021年版は、従来の『日～土』に戻してほしい。

A: 上申します。評判良い県連もあります。

③ 理事会・役員会の名簿の更新及び理事会議事録の公開

理事が交代した場合は速やかに改訂版を作成してほしい。

また、理事会内容や報告を、速やかに『ちばニュース』などで公開してほしい。

A:名簿の提出に協力いただけない会もあります。会役員、県連理事レベルは各会に知らせたい。：理事会報告等は、メールや千葉のニュースで紹介を継続する。

④ 議案書の装丁や内容

従来と比べて、しっかりした製本で、内容では、書式（フォントやフォントサイズ）が統一されており読み易く感じられる。今後も更に統一性をアップしてほしい。

A:今回は印刷・製本は外注した。お金を掛ければ楽しんで良いものが出る。

⑤ 『連盟費が高い』という意見に対しての考え方

年間の会費は、他の趣味の会等と比較して決して高くないと思う。しかしながら、会員からは『会費の半分以上が上納金では…』などという声もある。会員がもっと全国や県連の行事等へ積極的に参加すれば納得が得られると思うが…。

それには、会員が参加したくなるような工夫や宣伝が、これまで以上に必要と思う。早め早めに全国や県の行事や講習会のお知らせがあっても良いと思う。

各会の代表者や理事に、『ネット』などで速報（第一報）を伝えれば会員の参加率アップにつながるのではないか…と思う。

A:連盟費は、会員に負担をお願いしている貴重な財政です。全国行事・集会・講習会等に参加すれば実感できる事もありますが、現状は多くの会員は実感出来ないと思われる。執行側の、連盟費に対する意識も重要です。無駄をなくし有効に使用する事は勿論、会員個々が納得できる財政活動が求められる。

特に全国連盟の財政は、会員には良く見えないと思います。全国連盟の活動を紹介する事も県連の活動ですが、まず県連の財政も含めた活動が良く見える、理解できる内容にしたいと思います。

A:会員への案内は、現在はちばニュースが中心です。月初めの発行で情報をタイムリーにお知らせ出来ません。県連は新しい連絡方法、ニュース、トピックス等を検討する必要があります。会員への情報提供について検討し改善して行きたい。

⑥ p 25 自然保護委員会活動方針

メガソーラー建設反対運動について、反対の理由をわかりやすく提示してほしい。ソーラー自体が反対ではなく、設置に伴う自然破壊が問題である。良い提案ができれば望ましいと思います。

A ・ソーラー発電そのものに反対ではない。自然豊かなで広大な山間部を削り設置する事は自然破壊です。設置工事による、地盤、水系の破壊による災害の心配、除草剤等による水質悪化、漁業への影響は大きな問題です。

P25 リニア反対運動

反対の理由をわかりやすく提示してほしい。リニア新幹線が反対ではなく、工事に伴う自然破壊が問題である。良い提案ができれば望ましいと思います。

A リニア建設反対運動は、全国連盟主導で展開されています。千葉県連は、署名活動を実施している。（2020・1月末署名数：千葉県連・451 全国・14,628）
労山は主に工事及び運行に伴う自然破壊の面から反対しているが、リニアそのものにも大きな問題点があります。

・運行時の電磁波、振動 ・大地震など災害対策 ・人口減現状での経済性

・新幹線の数倍のエネルギーの消費等、省エネ時代にふさわしくない

7、総会中止時の処置について

「県連規約に今回のコロナウイルス等で中止の時に」それに代わる決定方法を定めていないように思えます。

そのような急な中止の時に決定方法を規約に決めて居ればその決定に沿いますが、今、このような緊急の相談が県連から有ることは「その決定方法が無いからと考えます」よって此処できちんとルールに沿って承認行為をしないと、ゆくゆく、この決定は、誰が、どの根拠で、決めて運用されたのか？問われて？ルール通りに遣りましたと答えられるでしょうか？

ゆえに今時点で県連のほうに立場を変えてみれば、このままでは県連の活動が出来ないので、仮承認（国会も暫定予算が有る様に）で活動に入るのは承認して、来る時期が到来したら（例えば 2 年に 1 回の総会なのでコロナ騒動が収まってから？来年に 1 回今年の代わりに開催？） 今回の様なルール変更も含め、遅ればせながら総会を開催して後追い承認になると思いますが。

今回は事情により、結果は県連議案を承認で決まりと思いますが、ルールがない以上は総会をしないで良いとはいかないと考えます。

A、 今般、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、イベントや集会等の自粛要請を受けて公共施設の使用が制限され、総会会場の千葉県スポーツセンターの使用も出来なくなり、役員会で定時総会の中止を決定しました。

千葉県連盟規約には、総会が開催出来なかった場合の規約や前例はありません。

今回、県連活動を早期に正常化するために特別処置を選択しました。会・会員のご協力をお願いします。

A、 千葉県連定時総会は 2 年に 1 回実施します。その間に、会代表者、県連理事による「合同会議」を実施し、県連活動、会計報告の仮承認をしています。

次期「合同会議」は、2021年2月に実施します。

この合同会議を、従来通りの会代表者、県連理事で実施するか、代議員による臨時総会を実施するか、理事会で討議・決定します。

2020年3月28日

千葉県勤労者山岳連盟 会長 広木 国鬼

「房総の山」 とっておきの話し・あちこちの想い

う沢 喜久雄（ふわくハイキングサークル）

(1) 鹿野山・九十九谷展望台

梅雨時の展望台は、九十九谷の谷とその向こうに高宕山がみえるはずなのに、霧か雲かかたずんでいて、ボーとしか見えない。そのぼうっとした谷は、例の虎騒動で野じゅう園に居た虎が逃げ込んだ谷で、正に上出来の場所を選んだものだと感心してしまう場所だ。

公園のベンチに腰を下ろして、ぼんやりしていると、例の日本絵画、東山魁夷の「東山残照」とまともな想いが浮かんできた。やっぱりこの場所虎でなく絵画を想う場所だと思う。ここは山よりも深い谷を見下ろし、ぼっとする場所だ。

(2) 大福山・展望台

この場所は夕方から夜がよい。西方には残照を追うのと同時に市原・五井や富津の、明々とした夜の光りがまぶしい程に光り、この光は”夜間勤務”の活力が感じられる場所だ。逆に東の方は房総を代表する山々、すなわちすぐそばには石尊山が立ち、その山並みの先には麻綿原の高みとピラミッド型の黒い清澄山が連なる。この山並みには登山路が続いていて、最初の千葉国体の時の登山種目のコースとなった路だ。この時は、私もまだ学校に勤務していて、その合間にコースの選定とキャンプ場(特に今仁田部落)に苦心したこと事が思い出されてなつかしさを感じる。この時はまだ山ビルの姿は、ほとんどなく、楽しく歩ける時だった。幼い頃の遠い思いでとなっている。

新シリーズ「房総の山」 とっておきの話

鵜沢喜久雄さんが、ふわくハイキングサークル会報に連載した企画です。房総の山と人々との関わりについて、ふるさとの自然を大事に守ってきた房総人の目で紹介しています。

50周年記念で取り組んだ「房総の山50選」で登った山も紹介されています。これを機会に、房総の山の素晴らしさを再認識してはいかがでしょうか。

◆ 鵜沢 喜久雄さんの紹介

1940年 千葉県夷隅郡岬町（現いすみ市）出身

千葉大学教育学部卒業、教員に1967年退職。

大原市議会議員を10期40年つとめ2006年に引退。

千葉県連元自然保護委員長として、房総の自然を守る運動の先頭で活動中。

著書紹介

- ・歩いてみよう房総の自然（ちばの山と滝と温泉と）1050円
- ・ちばの温泉（地湯ってきちゃう）1050円
- ・房総酒蔵めぐり（房総の名酒、銘酒、迷酒を知って味わう）1050円
- ・ちば滝めぐり（幸子夫人と二人三脚での滝探しの旅）2000円

県連統一クリーンハイクのお知らせ

自然保護委員会

毎年 房総の山々を中心としたクリーンハイクご苦労様です。最近の山には、ゴミがかなり少なくなりました。これも我々の運動の成果といえるのではないかと思います。しかし林道の脇にはかなりの粗大ゴミが遺棄されている所が少なくありません。これらは我々の手に負えないものがおおく、行政に連絡をしながら対処していきたいと思います。

最近、投棄されやがて小さな粒子となるプラスチック＝マイクロプラスチックが大きな問題となってきました。自然保護の観点から見逃すことのできない問題と考えられます。

そこで今年のクリーンハイクは海岸や、海に流れ込む河川・沼の周辺の主にプラスチックゴミの回収・清掃をすることになりました。

今年度のクリーンハイク計画

日時 5月30日(土) 10:00～12:00

集合にかかる時間等を考え 次の2つに分けることにしました。

1, 松戸・柏 周辺の会

東葛山の会 松戸山の会 松戸山翠会 松戸遠足 岳人あびこ
かがりび山の会 山の会らんたん 山の会「岳樺クラブ」

とりまとめ 小林 康男(自然保護委員：松戸山翠会)

場所 手賀沼周辺

集合場所 我孫子駅

2, 千葉・船橋 周辺の会

ちば山の会 千葉こまくさハイキングクラブ 船橋勤労者山の会
ふわくハイキングサークル 茂原道標山の会 君津ケル山の会
市川山の会 千葉民医連 山の会クローバー

とりまとめ 菅井 修(自然保護委員長：ちば山の会)

場所 稲毛の浜周辺

集合場所 稲毛の浜駐車場

多くの参加をお願いします。

県連予定表

4月		
日付	曜日	会議・イベント
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	教遭委員会 19時県連事務所
28	火	
29	水	昭和の日
30	木	

5月		
日付	曜日	会議・イベント
1	金	
2	土	
3	日	憲法記念日
4	月	みどりの日
5	火	こどもの日
6	水	振替休日
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	教遭委員会 19時県連事務所
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

事故発生時の連絡先 事故一報は一か月以内に！

- ①全国連盟事務局へメールまたはファクス
 メール： jwaf@jwaf.jp
 ファクス： 03-3235-4324
- ②県連教育遭対委員会にメールまたはファクス
 メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）
 ファクス： 043-271-4704（岡田）

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-0481509
 千葉県勤労者山岳連盟

定時総会が、コロナウイルスの影響で会場が使用出来なくなり中止になった。

3月2日（月）の役員会ではその対応に苦慮したが先がわからない状況で中止を選択した。

メールを使用して、会と会員に最大の協力をお願いする特別処置を決断をした。

2021年2月に予定している、会代表者・理事の合同会議で詳細についての討議をしたい。

早期に対応が出来た事、会の協力があつた事で
新年度も活動を開始出来た。何処かの誰かの一声で延期決定に踏み切ったオリンピックとは、一味違う延期決定でした。

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>